



羽村市立富士見小学校
校長 市川 晃司
令和7年10月30日 第7号
TEL: 042 (554) 6449
FAX: 042 (578) 1522

「一生懸命」ができる子に育てたい ～運動会を終えて～

10月18日（土）に運動会を開催したところ、早朝より多くの御来賓・保護者・地域の皆様に御来校いただきました。児童は温かい拍手と声援を受け、自分の力を十分に発揮できたと思います。保護者の皆様には運動会当日に向けて、体調管理や衣装の準備などの御協力をいただきました。また、PTA・おやじの会・スマイルーサポートの皆様には、受付や巡回など後方から支えていただきました。心より御礼申し上げます。

今年度の運動会は、昨年度同様、児童の主体性を大切にしながら「児童が創り上げる運動会」になるよう教職員に伝えるとともに、児童にも直接話をしました。また、縦割り班活動による「縦」のつながり、高学年で構成される委員会活動による「横」のつながり、学校だよりを通じた家庭とのつながりを大切にする新たな取組を行いましたがいかがだったでしょうか。



6年生表現「新～飛び立つ今、全力で感動を～」より

今年度のスローガンは「一生懸命 新たな挑戦2025」でした。代表委員会の皆さんのが本校の合言葉や上記の取組を踏まえ、話し合って決めたものです。

スローガンにある「一生懸命」・・・文字通り、児童は「一生懸命」演技や競技に、そして応援や係活動に取り組んでいました。辞書でその意味を調べてみると、「何かに対して全力を尽くし、真剣に取り組む様子」とあります。これは、本校の児童が体現できるよさの一つです。「一生懸命」には、以下のような教育的価値があり、本校の合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい 富士見小学校」にも深く関連しています。

- ① 夢や目標に向かって一生懸命努力すると達成感や成就感が味わえ、成長につながる。仮に成功しなくとも、自分に何が足りなかつたのか分かる。
- ② 一生懸命挑戦する姿は、自分や周りの人に感動を与える。

我々教職員は、日常の授業においても児童が常に「一生懸命」挑戦する環境を整えることに尽力しています。児童が今もっている力や経験を踏まえ、「一生懸命」挑戦すると解決できる課題設定がポイントです。その上で、得意な児童には更なる課題を、苦手な児童には適切な手立てを図ることになります。安心して「一生懸命」が発揮できる学級・学年・学校の雰囲気作りも大切です。今後も児童の「一生懸命」を大切にした教育活動を展開していきます。

11月22日（土）は、音楽学習発表会です。昨年度の音楽集会の成果と課題を踏まえた新たな行事です。運動会の練習と並行して音楽の授業を中心に練習を進めています。どのような「夢」や「感動」を味わえるか、今から楽しみです。御来校を心からお待ちしています。